

海水核種分析結果 < 沿岸 >

参考値

(データ集約 : 6/9)

採取場所	福島第一 5,6号機放水口北側 (5,6号機放水口から北側に約30m地点)				福島第一 南放水口付近 (1~4号機放水口から南側に約330m地点)				福島第二 北放水口付近 (3,4号機放水口付近) (福島第一から約10km地点)		福島第二 岩沢海岸付近 (1,2号機放水口から 南側に約7km地点) (福島第一から約16km地点)		炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)
	試料採取日時刻	平成23年6月8日 9時05分		平成23年6月8日 13時55分		平成23年6月8日 8時50分		平成23年6月8日 13時40分		平成23年6月8日 8時30分		平成23年6月8日 8時00分	
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	40
Cs-134 (約2年)	24	0.40	ND	-	20	0.33	29	0.48	6.0	0.10	ND	-	60
Cs-137 (約30年)	33	0.37	ND	-	25	0.28	34	0.38	5.8	0.06	ND	-	90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における海水の放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

代表3核種の検出限界値は次のとおり。I-131が約6Bq/L、Cs-134が約14Bq/L、Cs-137が約15Bq/L。
ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

海水核種分析結果 < 沖合 >

参考値

(データ集約 : 6/9)

採取場所	南相馬市沖合15km 上層		南相馬市沖合15km 下層		請戸川沖合15km 上層		請戸川沖合15km 下層		福島第一 敷地沖合15km 上層		福島第一 敷地沖合15km 下層		炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)			
	試料採取日時刻	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)		倍率 (/)		
	平成23年6月8日 10時00分			平成23年6月8日 10時00分			平成23年6月8日 9時40分			平成23年6月8日 9時05分			平成23年6月8日 9時05分			
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-		40
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	4.5	0.08		60
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-		90

採取場所	福島第二 敷地沖合15km 上層		福島第二 敷地沖合15km 下層		岩沢海岸沖合15km 上層		岩沢海岸沖合15km 下層		広野町沖合15km 上層		広野町沖合15km 下層		炉規則告示濃度限度 (Bq/L) (別表第2第六欄 周辺監視区域外の 水中の濃度限度)			
	試料採取日時刻	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/L)		倍率 (/)		
	平成23年6月8日 8時30分			平成23年6月8日 8時30分			平成23年6月8日 7時50分			平成23年6月8日 7時15分			平成23年6月8日 7時15分			
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-		40
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	4.6	0.08	7.6	0.13	4.3	0.07				60
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-		90

炉規則告示濃度は、「Bq/cm³」の表記を「Bq/L」に換算した値

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

採取場所に上層・下層の記載がない試料は上層から採取したことを示す

本分析における海水の放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

代表3核種の検出限界値は次のとおり。I-131が約7Bq/L、Cs-134が約15Bq/L、Cs-137が約15Bq/L。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。